

わが家の防災行動メモ

- 洪水が起きると、自宅の浸水状況がどうなるのかを9～16ページの避難決断マップや“久喜市防災ハザードマップ”で確認し、いくつかの避難のパターンを考えておきましょう。



1 避難決断マップで確認し 洪水で自宅がどうなるかを記入しましょう。

9～16ページの避難決断マップで、自宅を判定し、あなたの判定結果に○をつけ、避難行動を確認しましょう。

<p>あなたの判定結果は？</p> <p><input type="checkbox"/> 逃げ遅れたとき 滞在可 ○</p> <p>自宅での避難（在宅避難・垂直避難）が可能です。</p>	<p>あなたの避難行動は？</p> <p>まずは避難を検討しましょう 自宅にとどまる場合には十分な備えを! 避難に危険を感じたら無理に自宅外に避難しない</p>
<p><input type="checkbox"/> 滞在不可 ✕</p> <p>浸水後に自宅にとどまることはできません。 分散避難・広域避難できる場所を探しておきましょう。</p>	<p>命を守るために必ず早めの自宅外への避難が必要です</p>

ハザードマップや避難決断マップで示される浸水状況は1つの想定にすぎません。浸水状況等にかかわらず、万が一に備えて避難先等を考えておきましょう！

2 避難決断マップで確認し 水害時の自宅からの避難先“3つのパターン”を記入しましょう。

避難パターン1

浸水のおそれが低い地域の親戚・知人宅や宿泊施設・勤め先等（分散避難先・広域避難先） **各自で確保**

避難パターン2

自宅にとどまる（在宅避難） **飲食料等を備蓄**
居住階まで浸水が達する場合や、家屋倒壊等氾濫想定区域に含まれる場合には、自宅にとどまることができません。

避難パターン3

浸水のおそれが低い避難所へ避難 **各自で必需品を持参**

- ※ 利根川氾濫時には市全域で浸水が想定されているため避難できる避難所は限られます。
- ※ 避難所には多くの方、様々な方が避難し、混雑が予想されます。まずは各自で避難先を確保しましょう。

マイ・タイムライン

3 避難が必要になった場合をイメージし 避難前の備えやいつ避難を開始するかをメモしましょう。

発信される情報や状況など	主な備え [メモ欄]	備えの例
<p>台風発生</p> <p>レベル1 台風予報 早期注意情報</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ、インターネットなどで今後の台風を調べ始める ● 家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認
<p>レベル2 大雨注意報 洪水注意報 台風の今後の見通し</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 避難するときにもっていくものを準備 ● 携帯電話を充電 ● ハザードマップで避難場所や避難の方法を再確認 ● 川の水位を調べ始める ● 広域避難ができる場合は避難開始（避難パターン1 ※17ページ参照） ● 車での避難はこの時点で広い駐車場のある安全な場所へ ● 広域避難の移動手段がない方は、栗橋地区・鷲宮地区の安全レベル★の避難所へ避難開始（順次バスで総合運動公園へ避難）
<p>大雨警報 洪水警報</p>		
<p>氾濫注意水位到達</p> <p>レベル3 高齢者等避難 高齢者等は避難</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 携帯メールなどで避難情報を受信 ● 避難しやすい服装に着替える ● 避難指示を受信 ● 広域避難できなかったらここで避難開始（避難パターン3 ※17ページ参照） ● 徒歩での避難が原則 ● 安全なところへ移動を始める
<p>避難判断水位到達</p> <p>レベル4 避難指示 危険な場所から全員避難</p>		
<p>災害発生 危険が迫る</p> <p>レベル5 緊急安全確保</p>	<p>警戒レベル4までに必ず避難!</p> <p>警戒レベル5は発令できない場合があります。 警戒レベル5を待たずに、必ず危険な場所から避難!</p>	

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。

あなたや家族に何が必要かを確認し日ごろから備えましょう。

乳幼児や高齢者、疾患のある人など家族構成によって必要なものが異なります。あなたの家族をイメージし必要なものを備えましょう。

